

**一般社団法人日本プライマリ・ケア連合学会**  
**プライマリ・ケア認定薬剤師研修会**  
**「薬剤師が実践するアンチ・ドーピングとスポーツ医学」**  
**(2025年 12月 7日 日曜日【午後】)オンライン開催案内**

【一般社団法人日本プライマリ・ケア連合学会は日本医学会の第109分科会です。そして、プライマリ・ケア認定薬剤師制度は公益社団法人薬剤師認定制度認証機構(CPC)から「特定領域」の認定制度としての認証(認証番号P02)を取得しております。】

スポーツは健康の維持・増進に必要であり、生活習慣病の予防・改善にも薬剤師として啓発活動に寄与することは、プライマリ・ケア薬剤師として必要なことです。健康サポート薬局も名称が変更し「健康増進支援薬局」となり、スポーツを勧める機会も多いと思います。アスリートだけでなく、医療機関に足を運ぶ方々がスポーツと疾患について正しい知識を身に付けるサポートをしていくために、スポーツ医学の知識を学びましょう。今回は、ZOOMを使ったオンライン研修会とさせていただきます。研修に参加するには、一人一台のインターネットに接続可能なPC(カメラとマイク付き)、またはタブレットが必要となります。スマートフォンでの参加はご遠慮願います。

(細則による必須領域 : A,B,C,D,E,I)

| 要 項 |      |  |
|-----|------|--|
| 1   | 主 催  | 一般社団法人 日本プライマリ・ケア連合学会<br>薬剤師部会研修担当   |
| 2   | 研修期間 | 2025年 12月 7日 (日) 【午後】 13:20~16:30  |
| 3   | 研修会場 | ZOOMを利用したオンラインでの研修会になります。お申し込みで入力したメールアドレスに配信URLを送付いたしますので、開始時間になりましたら、そのURLをクリックして研修会にご参加下さい。研修会終了後、グーグルフォームへのアンケートに当日中にご回答下さい。 |
| 4   | 認定単位 | 薬剤師:2単位(認定薬剤師単位)、医師:3単位(更新のための単位)  |
| 5   | 受講資格 | 薬剤師、医師、歯科医師、看護師、医療職、医療関係者  |
| 6   | 定員   | オンライン 60名(ワークショップ形式)   |
| 7   | 受講申込 | 締め切り:2025年 11月 21日(金)午後5時<br>ホームページからの申込による先着順となり、定員になり次第締め切ります。<br>電話、ファクシミリ、メールによる申込は受付けておりません。                                |
| 8   | 受講振込 | 申込書を受信後、順次ご入金方法についてご案内させていただきます。<br>※ 指定期日にお振込みの確認ができない方は、キャンセル扱いとなりますのでご留意願います。   |
| 9   | 受講料  | 5,500円 但し、日本プライマリ・ケア連合学会会員は4,000円<br>※ 受講料入金後のキャンセル又は欠席の場合、原則として受講料の返金はできません。  |

問い合わせ先 : 日本プライマリ・ケア連合学会事務局担当係プライマリ・ケア認定薬剤師研修会事務局  
〒550-0001 大阪府大阪市西区土佐堀 1-4-8 日栄ビル 703A 有限会社あゆみコーポレーション内

TEL:06-6449-7760 FAX:06-6441-2055 [jpc@ayumi.jp](mailto:jpc@ayumi.jp)

# プログラム

2025年12月7日午後（日曜日）

|             |  |
|-------------|--|
| 13:20~16:30 | <p data-bbox="411 315 1054 342">「薬剤師が実践するアンチ・ドーピングとスポーツ医学」</p> <p data-bbox="1238 353 1445 380">講師：濱井 彩乃</p> <p data-bbox="411 432 1445 651">①プライマリ・ケアで活かすアンチ・ドーピングの知識<br/>アンチ・ドーピングは、クリーンで公正なスポーツを守るためのものです。薬剤師の医薬品の知識は、アスリートを守るために役立ちます。薬剤師として知っておきたいアンチ・ドーピングの規則や禁止物質の種類、検査の流れ、治療使用特例（TUE）などについて解説します。プライマリ・ケアの現場で薬剤師としてできることを、一緒に考えていきましょう。</p> <p data-bbox="411 701 1445 887">②薬剤師に役立つスポーツ医学と運動療法<br/>スポーツと運動は、あらゆる人の生活や健康と密接に関わっています。喘息の選手への吸入指導、貧血や月経不順がある女子選手の注意点、糖尿病患者の運動と薬剤の注意点、疾患別の運動療法のポイントなど、薬剤師に役立つスポーツ医学と運動療法について解説します。患者さんをみる視点を広げて、日々の指導をランクアップしていきましょう。</p> <p data-bbox="427 936 890 963">（細則による必須領域 A, B, C, D, E, I）</p> |
|-------------|--|

20分以上の遅刻・早退は原則単位になりませんのでご注意ください。

## 【講師紹介】

順天堂大学医学部スポーツ医学研究室  
濱井 彩乃 先生